

はじめまして 大山矯正歯科の院長 大山 照彦 です。

皆様からのご要望に応えまして、いろいろな歯科矯正治療に関する情報を、定期的に発信する事になりました。

『Q&A』 や 『新着お悩み相談』 だけではなく、矯正治療に関する『ABC』について、発信していきますのでよろしくお願いたします。

また、私のブログに質問や相談のある方は、HPよりメール機能をお使いいただくと幸いです。

第一回目は、矯正を開始する最適時期です。

よく『新着お悩み相談』などで、「いつごろから矯正治療は開始したら良いでしょうか？」などの質問が寄せられますが、私の考えをお話いたしましょう。

まずは、『前歯のデコボコ』につきましては、上顎の前歯が4本萌えてきたら、すぐにでも矯正治療を始めた方が良いと思われれます。特に上顎の二番目の歯が 真ん中の歯の後ろに重なるよう萌えてきたら要注意です。(写真1)



(写真1)

このような歯の萌え方をしたまま放置しておきますと、顎の発育や顎関節の発育に大きな障害を生じさせます。顔も段々と歯並びのせいで、歪んだ顔付きになってしまいます。また、虫歯や歯ぐきの病気になりやすくなってしまいます。



(写真2)

また、治療をしないまま大人になると、必ず上の写真(写真2)のような歯並びになり、歯を抜いての治療を受けなければなりません。

そこで、小学生の1～2年生頃に、第一段階の治療を行う。つまり『前歯だけはきれいに並べる(写真3)』という事を行うと



(写真3)

将来的には、歯を抜かない治療が可能になってきます。(写真4)

この、『歯を抜かない治療』は、とても大きなものだと思います。



ここで、重要な事は、永久歯が萌えてきて、デコボコになれば、特に上の前歯につきましては、出来るだけ早目にきれいにしてあげる と言う事が『ポイント』となります。そうする事によって、大人の歯を抜くことなく、きれいな歯並びをつくる事が出来るのです。

また、この時期の治療は、成長旺盛な時期ですので歯の移動もスムーズに行えますし、顎の骨の成長とともに歯を移動させますので、安定性も高くなります。それに、とてもお子様にとって、『体にやさしい治療』となります。つまり無理やり歯を動かしているのではなく、成長とともに歯も動くという事です。

矯正の先生は、歯を抜きたがっているような誤解がありますが、実は 私達 矯正医でも、出来るだけ歯を抜かない治療を目指しているのです。

その為には、矯正治療を始める時期が大切となります。

前歯にデコボコがある場合には、出来るだけ小学生の低学年で、受診される事をお勧めいたします。

前歯にデコボコがある場合の治療時期について私見を述べさせていただきました。

今回は、受け口の治療を始めるには、何時頃が最適化をお話する予定です。

大山矯正歯科

院長 大山 照彦